



安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当

TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
改訂日 2018/07/19
SDS整理番号 23054380

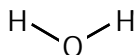
製品等のコード : 2305-4380

製品等の名称 : 純水

推奨用途 : 試薬

参考: その他の用途(当該製品規格に限定されない一般的な用途。規格により用途は相違。) 洗浄用、溶媒、添加物など

2. 危険有害性の要約



GHS分類

物理化学的危険性
引火性液体 : 区分外
自然発火性液体 : 区分外
自己発熱性化学品 : 区分外
水反応可燃性化学品 : 区分外

健康に対する有害性
急性毒性(経口) : 区分外
急性毒性(吸入:ミスト) : 区分外
皮膚腐食性・刺激性 : 区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分外
呼吸器感作性 : 区分外

環境に対する有害性
水生環境急性有害性 : 区分外
水生環境慢性有害性 : 区分外

シンボルマーク、絵表示 : 該当なし

注意喚起語 : 該当なし

危険有害性情報 : 該当なし

注意書き

【安全対策】
保護眼鏡、保護手袋、保護衣、呼吸用保護具を着用すること。

【救急措置】

該当なし

【保管】

直射日光を避け、容器を密閉して冷暗所に保管すること。

【廃棄】

内容物は下水放流し、容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「分類対象外」、「分類できない」又は「区分外」である。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品
化学名 : 純水

	(英名) Purified water、 Water (EC名称、TSCA名称)、 Water, purified
成分及び含有量	: 純水、100%
化学式及び構造式	: H ₂ O、構造式は上図参照(1ページ目)。
分子量	: 18.02
官報公示整理番号	化審法 : 未設定 安衛法 : 未設定
CAS No.	: 7732-18-5
EC No.	: 231-791-2
危険有害性成分	: 特になし

4. 応急措置

吸入した場合	: 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	: 必要に応じて、皮膚を流水又はシャワーで洗う。
目に入った場合	: 異常を感じた時は、水道水などの清浄な水で数分間注意深く洗う。 次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外す。 その後も洗浄を続ける。 眼刺激が持続する時は、医師の診断、手当てを受ける。
飲み込んだ場合	: 直ちに、ミネラル水、食塩水または水道水を飲む。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受ける。
予想される急性症状及び遅発性症状	: 情報なし

5. 火災時の措置

消火剤	: この物質は不燃性。周辺火災に適した消火剤を使用する。 周辺火災に適した消火剤を使用する。 散水、噴霧水、泡消火剤、二酸化炭素、粉末消火剤、乾燥砂など
使ってはならない消火剤	: 特になし
特有の危険有害性	: 特になし
特有の消火方法	: 風上から消火活動をする。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護	: 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 作業者は必要に応じて保護具を着用する。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 風上に留まる。 低地から離れる。
環境に対する注意事項	: 特になし
回収、中和	: 雑巾、モップ、紙などで吸い取り、容器に回収する。 後処理として、漏洩場所は乾燥させる。
封じ込め及び浄化の方法・機材	: 危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策	: 漏洩場所の滑りを防止するため、こまめにふいて乾燥させる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 本製品を取扱う場合、必要に応じて保護具を着用する。
局所排気・全体換気	: 換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行なう。
安全取扱い注意事項	: すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。 飲み込まない。 眼に入れない。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。 取扱い後はよく手を洗う。
接触回避	: 高温体との接触を避ける。
保管	
技術的対策	: 保管場所には、本製品を取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
混触危険物質	: 禁水性物質、水反応可燃性物質
保管条件	: 容器を密閉して冷暗所に保管する。 食品や飼料から離して保管する。 開封したら、なるべく早く使い切る。 直射日光を避けて保管する。
容器包装材料	: ポリエチレン、ポリプロピレン、ガラス等

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 未設定
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標):	
	日本産衛学会(2017年版) 未設定
	ACGIH(2017年版) 未設定

- 設備対策 : 取扱い場所には局所排気又は全体換気装置を設置する。
この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。
- 保護具
- 呼吸器の保護具 : 保護マスク（防じんマスク）を着用する。
 - 手の保護具 : 保護手袋（塩化ビニル製、ニトリル製など）を着用する。
 - 眼の保護具 : 眼の保護具（保護眼鏡、側板付き保護眼鏡）を着用する。
 - 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣、顔面用の保護具を着用する。
- 衛生対策 : 取扱い後はよく手を洗う。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状態、形状、色など : 無色澄明の液体
- 臭い : 無臭
- pH : ほぼ中性 (pH5 ~ 8。空気中の炭酸ガスを吸収すると弱酸性を示す)
- 融点 : 0
- 沸点 : 100
- 引火点 : 不燃性液体
- 爆発範囲 : 不燃性液体
- 蒸気圧 : 6hPa (0)、23hPa (20)、74hPa (40)、199hPa (60)、
474hPa (80)、1013hPa (100)、1989hPa (120)
- 蒸気密度 (空気 = 1) : データなし
- 比重 (密度) : 1.00 (4)
- 溶解度 : メタノール、エタノール、イソプロピルアルコール、アセトニトリル
に混和する。
塩酸、硫酸、硝酸、酢酸、アンモニア水に混和する。
トルエン、ヘキサン、ベンゼン、酢酸エチルなどの有機溶剤に
殆ど混和しない。
- オクタノール/水分配係数 : 水のため対象外
- 自然発火温度 : 不燃性液体
- 分解温度 : データなし
- 粘度 : データなし
- GHS分類
- 引火性液体 : 本品は不燃性液体であることから、区分外とした。
 - 自然発火性液体 : 本品は不燃性液体であることから、区分外とした。
 - 自己発熱性化学品 : 本品は不燃性液体であることから、区分外とした。
 - 水反応可燃性化学品 : 本品は水であり、安定である (水との混触で可燃性ガスの発生がない) ことから、区分外とした。

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常取扱条件において安定である。
- 危険有害反応可能性 : アルカリ土類金属、アルカリ金属と激しく反応する。
水反応可燃性物質 (赤リン、七硫化リン、アルミニウム粉、硫黄、亜鉛粉、
固形アルコールなど) と反応して可燃性の気体を発生する。)
- 避けるべき条件 : 日光、熱
- 混触危険物質 : 禁水性物質、水反応可燃性物質
- 危険有害な分解生成物 : 特になし

11. 有害性情報

- 急性毒性 : 経口 無機塩類などをほとんど含有していないので、飲み込むと腹痛、
嘔吐、下痢、むかつきなどの症状が現れることがあり、有害である。
経口 ヒト男性 TDLo = 42.86g/kg (ふるえ、筋肉縮の発症)
ヒト幼児 TDLo = 333g/kg (けいれん、発作、発熱の発症)
ラット LD50 > 90mL/kg
静脈 マウス LD50 = 25g/kg
経皮 データ不足のため分類できない。
吸入 (蒸気) データ不足のため分類できない。
吸入 (ミスト) データ不足のため分類できない。
- 皮膚腐食性・刺激性 : データはないが、皮膚刺激性は極めて低い。
- 眼に対する重篤な損傷・刺激性 : データはないが、眼刺激性はほとんどない。
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データはないが、感作性の危険性は極めて低いと考えられて
いる。
- 生殖細胞変異原性 : 情報はないが、生殖細胞変異原性の危険性は極めて低いと考えられて
いる。
- 発がん性 : IARC、ACGIH、NTP、EPAに記載なし。発がん性の危険性は極めて低い。
- 生殖毒性 : データはないが、生殖毒性の危険性は低い。
- 特定標的臓器・全身毒性
(単回ばく露) : 情報はないが、有害性はほとんどない。
- 特定標的臓器・全身毒性
(反復ばく露) : 情報はないが、有害性はほとんどない。
- 吸引性呼吸器有害性 : データがないため分類できない。

- 水生環境急性有害性 : 有害性は極めて低いため、区分外とした。
 本品は生命活動に必須な成分である。
 水生環境慢性有害性 : 本品は生態系に広く分布する成分である。
 急性毒性が区分外であり、生体蓄積性は低いと推定されるので
 区分外とした。
 オゾン層への有害性 : 本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされて
 いないため、分類できないとした。

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 直接、下水に放流する。
 汚染容器及び包装 : 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準
 に従って適切な処分を行う。
 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

14. 輸送上の注意

- 国内規制（適用法令）
 陸上規制 : 特段の規制なし（非危険物）
 海上規制 : 特段の規制なし（非危険物）
 航空規制 : 特段の規制なし（非危険物）
 国連番号 : 非該当
 国連分類 : 非該当
 品名 : 非該当
 海洋汚染物質 : 非該当
 特別の安全対策 : 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのない
 ように積み込み、荷崩れの防止を確実にする。
 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
 重量物を上積みしない。

15. 適用法令

- 労働安全衛生法 : 非該当
 毒物及び劇物取締法 : 非該当
 消防法 : 非該当
 化学物質管理促進法 (PRTR法) : 非該当
 船舶安全法 : 非該当
 航空法 : 非該当
 輸出貿易管理令 : 別表第1の16項(キャッチオール規制) 第28類 無機化学品
 HSコード(輸出統計品目番号、2018年4月1日版) : 2853.90-000
 「その他の無機化合物(蒸留水、伝導度水その他これらに
 類する純水を含む。) - その他のもの」

16. その他の情報

(注) 本品を試験研究用以外には使用しないで下さい。

- 参考文献 :
 化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社
 労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2007)
 化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編
 化学大辞典 共同出版
 安衛法化学物質 化学工業日報社
 産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版
 化学物質安全性データブック オーム社
 公毒と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版
 化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修
 Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM
 GHS分類結果データベース nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
 GHSモデルMSDS情報 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP

このデータは作成の時点における知見によるものですが、必ずしも十分ではありませんし、何ら保証をなすものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。なお、この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253:2012に準じ作成しています。